



第2回若手研究者セミナー

第1回(2020年2月)のヨーク・ケーネンズさん(ベルギー・ルーヴェン大学)と水島希さん(総合研究大学院大学)のセミナー以降、コロナの影響で長らく延期となっていました。若手研究者セミナー、ようやく第2回の開催となりました。是非ご参加ください。

日時 ; 2023年6月18日(日) 14:00~16:30

場所 ; 冬水文庫(京都市上京区講堂町321) 下記の地図参照

堀川丸太町交差点北西方向(榎木町通猪熊東入)。市バス・堀川丸太町下車すぐ(京都駅前バスターミナル乗り場B1<市バス9番>、B2<市バス50番>)。地下鉄烏丸線丸太町駅下車西へ徒歩10分、東西線二条城前駅下車北へ徒歩8分。JR嵯峨野線二条駅下車北東へ徒歩15分。

参加費 ; 無料

戦争映画批評の時代

—岩崎昶、あるいは映画批評の可能性について—

大月功雄さん

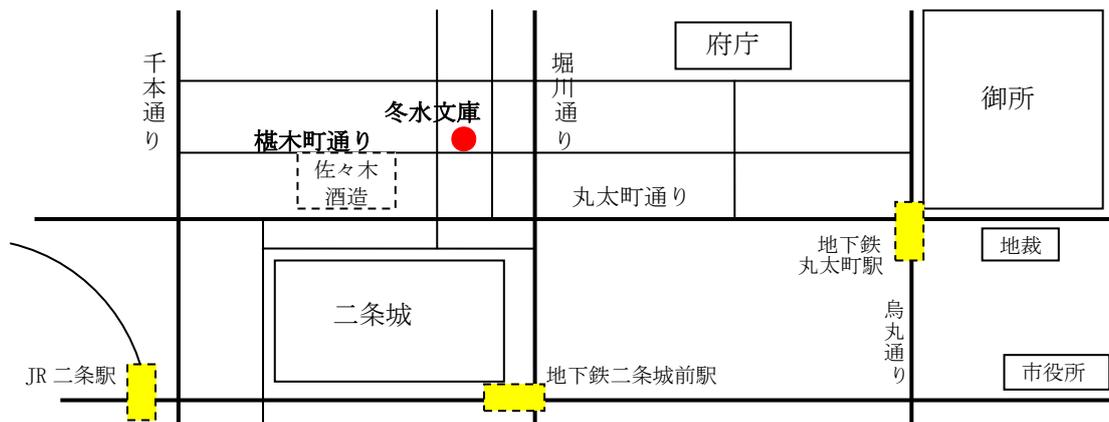
(立命館大学大学院社会学研究科博士課程、立命館大学国際平和ミュージアム)

<報告要旨>

本報告では、20世紀の日本を代表する映画批評家の一人である岩崎昶の戦争映画批評の時代を取り上げる。満洲事変を直前にひかえた戦前の日本社会で、日本の映画人たちは来るべき戦争を止めるためにいかなる抵抗を試みていたのだろうか。岩崎昶という一人の批評家が、その戦争を止める衝迫のなかで気づき得た、立場の異なる人びととの連帯の模索について考察してみたい。

<大月さんの主な論稿>

- 1) 大月功雄「戦争映画批評の時代：岩崎昶、あるいは批評の可能性について」、『社会文化研究(24)』社会文化学会、2022年2月。
- 2) 大月功雄「戦争記録映画の誕生：日清・日露戦争と戦場のリアリズム」、『立命館平和研究(22)』2021年3月。
- 3) 大月功雄「総力戦体制と戦争記録映画：亀井文夫の日中戦争三部作をめぐって」、『年報・日本現代史(23)』2018年。



※市民科学京都研究所は2009年設立、年報『市民の科学』とブックレット(発売;晃洋書房)および月刊ニュースレター「市民科学通信」発行、京都自由大学は2005年設立、市民に開かれた講座開設、共に、戦争、経済格差、気候変動等に取り組む。

主催 ; NGO 市民科学京都研究所 (セミナー事務局 eメール ; sigemo.nao@gmail.com)

協力 ; NPO 法人京都自由大学